

登録コード	HM116800	開講年度	2026				
授業題目	画像医学特別研究				担当教員	藤永 康成 他	
英文授業名	Research Thesis in Radiologic Researches				副担当	山田 哲・小岩井 慶一郎・塚原 嘉典	
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年次
講義室			授業形態	演習	備考	オムニバス形式	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力 ⇄				各種画像診断法, Interventional Radiologyおよび放射線治療に関して, 選択した研究課題について研究を実践し, 論文を作成することができるようになる.		
(2)詳細 /Detailed information	放射線医学における基礎および臨床研究は実臨床に直結し, その結果によっては診療レベルが格段に向上する. 自身で研究テーマの決定, 研究計画の立案, 研究の実施および解析を行うことで, 日々の臨床でのリサーチマインドを培うことを目的とする.						
(3)授業の概要 /Overview of course	各種画像診断法, Interventional Radiologyおよび放射線治療に関して, 研究の実践, 指導を行い, 選択した研究課題について論文指導を行う.						
(4)授業計画 /Course plan	以下の分野を選択した上で各自の研究テーマを決定し, 研究の実践を行う. (藤永 康成) 上腹部・骨盤疾患において, CTまたはMRIの新規撮像法を用い, その有用性や診断能に関する検討に関して, 研究指導を行う. (山田 哲) 肝・胆・膵において, CTまたはMRIを用いた画像解析法から得られる疾患の特徴的所見に関する検討に関して, 研究指導を行う. (小岩井慶一郎) 放射線治療に関する新規治療法およびその治療成績に関する検討について, 研究指導を行う. (塚原嘉典) Interventional Radiologyに関する新規治療法およびその治療成績に関する検討について, 研究指導を行う. 上記以外の研究テーマについては, 別途相談して決定する.						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	1) 研究目的の決定, 2) 研究デザインの作成, 3) 研究の実施・解析, 4) 考察および結論, に関してレポート作成および討論を行い進捗状況の確認を行う. レポート作成と討論50%, 最終的に完成した論文50%で成績を評価する.						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	パソコンを用いて文献検索およびレポート作成し, メールを用いてレポートや論文を提出することができる環境を準備すること.						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教官のオフィスアワーを参照のこと.						
(8)授業の形式 /Course format	本授業は演習形式で行う.						